

## 2023年度 つむぎつつじケ丘ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.6	施設内の掃除は、スタッフ間で分担して行っております。いつでも利用する方が気持ちよく施設を使っていただけるよう心がけて、ルーム内の掃除と整理整頓をしてまいります。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.8	休憩は、全スタッフが確実に60分取れるように調整しています。突発的な対応やスタッフの休みが発生した際には、臨機応変に対応をお願いしていますが、休憩時間は確保するよう努めています。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.4	スタッフ皆が業務改善につなげようと努力しております。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	2.6	園長大学®保育士大学や、行政が開催している研修についての最新情報を掲示しております。支援スキル向上のため、ルーム内の研修にも努めています。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		本部による人員の確保が行われることにより、支援を必要としているつむぎ利用児に必要な環境と経験を積み重ねる機会の提供が可能となります。現場と本部の連携を大切にしながら利用者様に満足していただける支援を提供してまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.8	児童発達支援管理責任者を中心に適切なアセスメントを全スタッフでも実施できるよう指導をしてまいります。
	Q8	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.2	支援目標に沿った支援の提供を行っているかどうか、常に確認し必要に応じてスタッフへの指導を行ってまいります。
	Q9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.4	個々のニーズに合わせて、繰り返し継続的に行う活動もあれば、新しい活動、日常では体験できないような活動を取り入れるよう心掛けてまいります。
	Q10	プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.0	平日は、マンスリー児のフィードバックと重なるため、準備は1人のスタッフが行うことが多いっています。支援終了後の振り返りや、次回の内容の共有を行うよう努めています。
	Q11	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	2.8	支援終了後は、担当スタッフ同士で必ず時間を設けてもらい、振り返りから次の支援へ繋げる内容の共有と記録を引き続き行ってまいります。
	Q12	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.2	記録の取り方の工夫とポイントを共有し、必要な情報を記録に残すように努めています。
	Q13	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができるているか。	4.0	引き続き、適用期間内に支援計画の説明ができるよう、余裕をもって計画的にモニタリングを実施してまいります。
	Q14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.4	子ども達の成長にとって必要な経験が積めるよう活動の内容や活動の組み合わせ方を工夫し、個々に合わせた支援が提供できるよう努めています。
	Q15	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		学びの場は日々の支援や園長大学®保育士大学の研修など、法人内外で機会はあります。自治体主催の研修などに参加するためにシフトの調整が必要な場合には、予め相談していただければシフトの調整を行います。
保護者様との連携について	Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.2	支援後のフィードバックや事業所内相談支援を通して、保護者様にお子さまのご様子や支援の内容を分かりやすくお伝えし、共に成長を喜び合える場となることをを目指しております。
	Q17	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.4	施設長兼児童発達支援管理責任者を中心に、他園との連携を行っております。園でのお子さまのご様子や課題についての共有を行い、日々の支援に活かしてまいります。
	Q18	児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に務めているか。	2.2	事業所同士の連携は、保護者様のご希望がある際に必要に応じて行っています。連携がしやすいように周知してまいります。
	Q19	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.6	保護者様や放課後等デイサービスからのお子さまのご要望に応じて対応し、できる限り情報を提供し、お子さまが少しでもスムーズに移行できるよう情報提供をしております。
	Q20	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.2	必要に応じてお子さまの情報共有や支援の内容など、地域のこども発達支援センターと定期的に連携しております。
	Q21	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.6	地域事業者同士の会議などに積極的に参加し、情報共有を行い連携を図っております。
	Q22	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.4	保育園と併設している強みを活かし、いろんな子ども達同士が関わり合い育ち合える環境を設けています。併設の環境を最大限に活かした支援の提供ができるよう努めています。
	Q23	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.6	保育園と実施する行事や子育て支援行事は、広報に載せるなど地域の方々を招待しております。
	Q24	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.2	保護者様の気持ちやご希望に寄り添い、お子さまへの理解やご家庭での対応方法など適切な助言ができるよう努めています。
	Q25	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		関係機関や保護者様とお話しをする機会を通して、お子さまの情報を収集し、支援に活かしていくことがスタッフの責務であることを周知してまいります。

## 2023年度 つむぎつつじヶ丘ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.0	全スタッフは、制度や請求に関する情報を積極的に収集し、保護者様からのご質問にいつでもお答えできる体制を整えてまいります。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.2	保護者様からのご相談に適切に応じられるよう、保護者支援について改めて学ぶ機会を設け、全スタッフが適切な助言ができるよう努めてまいります。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	3.6	保護者様同士がつながれる機会を確保できるよう、スタッフ一同で積極的に行事の企画と実施を行ってまいります。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.2	保護者様からご意見やご提案があった際は、迅速に施設長と共有することを周知しております。保護者様からのコメントはすべて貴重なご意見として対応させていただいております。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.4	ホームページ、玄関やルーム内掲示と共に口頭でお伝えをしています。スタッフ間で周知事項を共有し、漏れがないよう期限内に周知が完了できるよう心掛けてまいります。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉掛けをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.2	スタッフが子ども達や保護者様とお話しする際には、分かりやすい言葉を使うことを心掛けております。個別支援計画を作成する際にも、保護者様が理解しやすいよう専門用語以外の言葉を使って記載するよう努めております。
	Q32	個人情報の取扱に十分注意しているか。	5.0	引き続き、個人情報の管理には、最善の注意を払って行ってまいります。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.0	スタッフ同士の情報共有は、毎日の終礼時と週ごとのつむぎ会議の時間を使って行っています。支援中の連携についてもスタッフ間で工夫し、情報の共有を徹底してまいります。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		保護者様や子ども達の話を傾聴し、受け止め、必要に応じて提案や対応をさせていただいております。
非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.0	全スタッフがマニュアルを把握し迅速に対応できるよう定期的に研修を行っております。
	Q36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.8	保育園と合同で定期的に避難訓練を行っております。訓練実施後の反省や改善策をもとに、有事に備えて全スタッフが適切な対応ができるよう努めてまいります。
	Q37	虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.2	年2回の虐待・身体拘束防止に関する研修を定期的に行い、日々の支援・保育で注意すべき対応などを周知しております。また年2回人権チェックと虐待防止委員会を実施しております。
	Q38	ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.2	毎日終礼時にヒヤリハット報告を行い、なるべく多くの事案を出し合い、インシデントや事故が発生しないようスタッフ間で周知しております。
	Q39	非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		非常時を想定して、何が必要か、どのような状況になりうるか想像して日々の環境を整え、避難訓練後は、反省で終わらず、具体的な改善策を出し、実施するよう心掛けてまいります。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	2.8	どうしたら子どもが必要な支援を受けられるか、何が足りないかをスタッフ間で話し合い、より良い支援の提供と質の向上を図ってまいります。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	3.8	小さな変化や成長を心から喜び合えるスタッフで支援にあたっています。大きな成長につながるよう日々の積み重ねが確実にできるよう支援してまいります。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		新しいスタッフとも、多角的な視点を踏まえた支援を行うことを目指しています。発達支援ガイドラインは、保育所保育指針と共に目指すものであるという理解を得て、日々の支援にあたれるよう努めてまいります。

アンケート実施期間:2023年8月15日～9月5日

全回答数 : 5

つむぎつつじヶ丘ルーム  
施設長 中村 大輔